

高知大生が駄菓子屋さん

子どもたちに憩いの場を提供しようと、高知大学地域協働学部4年の森野純夏さん(21)が高知市朝倉本町2丁目のシェアハウスの一角で5日、駄菓子屋をオープンする。「子どもたちと地域、学生たちがゆる〜く、つながれる場所にしていきたい」と仲間たちと準備を進めている。



駄菓子店の準備を進める森野純夏さん。店にいろいろの種類のリッキーが目印です。

(高知市朝倉本町2丁目)

朝倉キャンパス近く あす開店 「子どもとつながる場に」

森野さんは静岡県出身。子どもも地域福祉、問題ある家庭への社会的支援を研究テーマにしている。昨秋から学習支援が必要な子どもにオンラインで学び場を提供するプログラムに参加してきた。

しかし、「高知にせっかくだからネット上ではなく、地域の子もたちと関わり合いを持ちたい」と考えた。小さい頃、駄菓子屋が身近な存在だったことを思い出し、駄菓子屋「ふいーか」を「ふいーかの日」に始めることにした。

店名は、仕事の手を止めて甘い物でくつろぐスウェーデンの習慣「fika」にちなみ、「ふいーか」にちなみ、「ふいーか」。

営業時間は5日は午前10時から午後6時。本格オープンは14日から、火、金曜の午後0時半〜4時半を予定。問い合わせは森野さん(080・7041・1820)。

(村瀬佐保)